

海洋理工学会平成 23 年度春季大会プログラム

5月12日(木) 10:00 19:30

学会賞受賞記念講演

10:00-10:30 H1[顕功賞] 七十にして、さらに夢を追う 藤縄幸雄(危機管理対策協議会)

シンポジウム「海のリアルタイムセンシング-現状と展望」

コンビナー:月岡 哲(JAMSTEC) 千賀康弘(東海大海洋)

10:30-10:40 主旨説明 門馬大和(日海事)

10:40-11:10 S1. 海底・海底下のリアルタイム長期連続センシング 川口勝義(JAMSTEC)

11:10-11:40 S2. 海洋音響トモグラフィによる広域物理センシング
新家富雄(システムインテック)

11:40-12:10 S3. 水中ウインチを用いた自動昇降式ブイによる海洋基礎生産モニタリング
才野敏郎(JAMSTEC)

昼休み

13:30-14:00 S4. GLIDER による海中観測 中村昌彦(九州大)

14:00-14:30 S5. ARGO フロートによる海中観測 雨池健一(鶴見精機)

14:30-15:00 S6. AUV による海中観測 巻 俊宏(東大生研)

休憩

15:10-15:40 S7. 大水深海洋観測ブイネットワーク 石原靖久(JAMSTEC)

15:40-16:10 S8. 音響信号を用いた海中データ通信 越智 寛(JAMSTEC)

16:10-16:40 S9. 衛星通信を用いた海洋観測データ通信 小森茂典(ゼニライトブイ)

16:40-17:10 総合討論

17:30-19:30 イブニングセッション

5月13日(金) 9:30 - 17:00

一般講演

9:30-10:50 リスク管理 座長 畑 恭子(いであ)

A1. 数値モデルを用いた東京湾のシロギス体内の重金属濃度推定

江里口知己、小松原由美、柳田圭悟(SAT)、亭島博彦(海生研) 中田喜三郎(名城大院)、堀口文男(産総研)

A2. 東京湾における重金属の生態リスクの現状

柳田圭悟、江里口知己、小松原由美(SAT)、亭島博彦(海生研)、堀口文男(産総研)

A3. 東京湾に生息する魚類のコプラナ-PCB 濃度

亭島博彦(海生研)、江里口知己(SAT)、小林憲弘(医薬品食品衛生研究所)、堀口文男(産総研)

A4. 環境への負荷の少ない養殖システムの構築に向けて 生態系モデルによる Goldman の養殖
- 栄養塩類除去システムのトレース

畑 恭子、楯 慎一郎(いであ)、広海十朗(日本大)

10:50-11:30 バイオテレメトリー

座長 新家富雄(S I T)

A5. 水圏動物の詳細な行動を把握するための新規動物装着型データロガーの開発

野田琢嗣、奥山隼一、小泉拓也、荒井修亮(京大院情報)、小林真人(西海水研)

A6. ノルウェーの魚類バイオテレメトリー研究 - フィヨルドで魚を追いかける -

三田村啓理、荒井修亮(京大院情報)

11:30-12:10 総会・学会賞表彰

昼休み

13:00-13:40 **ポスターセッション**

P1. Aqualingual システムによる魚類養殖管理技術の検討

陳 衛民、原 隆、猪股 学、三星 亨（日本水産）、佐竹幹雄（日海事）

P2. 小型省電力型海洋二酸化炭素分圧測定装置の試作および評価

鶴島修夫（産総研）、紀本英志、木下勝元、江頭 毅（紀本電子工業）

P3. 淡水および海水中における細菌の生理活性の評価

山田奈海葉、鈴村昌弘、根岸信彰、小岩史子（産総研）

P4. (= A12)

P5. (= A11)

P6. (= A 5)

P7. (= A 6)

P8. (= A15)

P9. 深海調査研究船「かいらい」のマルチチャンネル反射法探査用振源波形の改善

溝田あゆみ、清水 賢、三浦 亮、柴田英紀、大渡祐樹、高江洲盛史、渡曾勇太、久野光輝、磯貝淳之、田中響子、井和丸 光、鈴木瑛江、樋泉昌之、片山 健（日海事）・伊藤 誠（JAMSTEC）

P10. フェリー搭載 ADCP による駿河湾海流データセットの作成

鴨志田 隆、新家富雄（SIT）、仁木将人、千賀康弘（東海大海洋）

13:40-14:40 **プランクトン計測**

座長 秋葉龍郎（産総研）

A7. 衛星画像データを用いた北潟湖の全燐濃度の推定

青山隆司（福井工大）、松井佑介（VTI）

A8. 多波長蛍光光度計を用いた赤潮プランクトンの定量

西林健一郎（いであ）、堀内智啓（JFE アドバンテック）、原田洋一（Ides）

A9. 伊勢湾における炭素クロロフィル比の季節変化

中田喜三郎（名城大院）

休憩

14:50-15:50 **機器開発**

座長 石橋正二郎（JAMSTEC）

A10. 四次元広角映像及び測量用ソーナーシステムの研究

松本さゆり、片倉景義（港空研）、南利光彦（日立製作所）、武山芸映（ジェネシア）、高橋小夜佳、板倉 新（国交省）

A11. マルチビーム音響測深装置における ARGO フロートの利用および音速プロファイルの自動作成

太田晴美、徳長 航、長濱則夫、前野克尚（GODI）

A12. 「かいこう 7000」光多重通信の確立

小椋徹也（JAMSTEC）、重竹誠二、浅井 隆、山内徳保（日海事）、山本富士夫、月岡 哲、大澤弘敬（JAMSTEC）

休憩

16:00-17:00 **機器開発**

座長 吉田 弘（JAMSTEC）

A13. 高精度海水温センサ用温度検定システムの開発-恒温槽内の超高精度温度安定化技術 その2

馬場尚一郎（JAMSTEC）、脇本辰郎、加藤健司（大阪市立大）、丹波 純、山澤一彰（産総研）

A14. 表面ブイ係留系の動的解析の構築と評価～第一報 実海域試験との比較について～

大田 豊、馬場尚一郎（JAMSTEC）、斉藤宏幸、伊藤彰雄（IHI）

A15. 高精度 MCS 震源システムの改善

柴田英紀（日海事）